

(公財) 小千谷総合病院が立地する土地の活用に関する市場性調査の結果

新潟県小千谷市

本市は、中心市街地に位置する(公財)小千谷総合病院が閉院することに伴い、同病院が立地する土地の活用方法を検討しています。この検討業務の一環として、当該土地の市場評価等を把握するとともに、民間事業者の優れたノウハウを活用する官民連携事業を実施する場合の諸条件、事業フレーム等を検討するため、民間事業者との対話による市場性調査を行いました。

1 市場性調査の経過

- | | |
|---------------|-----------------------------|
| (1) 実施要領の公表 | 平成 28 年 11 月 1 日 |
| (2) 対話の申込みの受付 | 平成 28 年 11 月 14 日～11 月 25 日 |
| (3) 対話の実施(3者) | 平成 28 年 12 月 1 日～12 月 9 日 |

2 対話の概要

(1) 図書館との複合により相乗効果が期待できる機能について

図書館は、福祉、健康、教育の各分野をはじめとして他の機能との親和性が高く、機能によってはマーケティングを要するものの、幅広い選択肢があることを把握できました。一方、官民連携による施設整備を進めるためには、ある程度のスペースを必要とするような機能をいくつも複合させることは避けるべきなどの意見もいただきました。

(2) 事業方式について

本件跡地活用における民間事業者との連携手法については、PFI法に則った方式をはじめとして、現実的にいくつか選択肢があることを把握できました。

(3) 施設の運営に市民等が関わる仕組みについて

図書館業務を支援する利用者団体の活動、地域事情をよく知る民間事業者の施設運営への関わり等について、先進的な取組み事例の紹介などをいただき、仕組みづくりにおける留意点を確認することができました。

(4) その他

これまでの実績やノウハウを活かした特色ある提案を交えながら、中心市街地の活性化のほか、本市の魅力を高めるための方策について、民間事業者の視点に立った幅広い意見を聴くことができました。

3 まとめ

中心市街地における「賑わい・交流・憩いの創出」の実現に向け、魅力ある質の高いサービスの提供、効率的な施設運営等の観点から、引き続き官民連携事業に関する研究を進め、その検討過程で今回の対話を通じて把握・確認できたさまざまな情報を活かしていきます。